

診療科目

病理診断（腫瘍病理、一般病理、術中迅速診断）、細胞診診断、病理解剖

専門医研修指導医

責任者：小田義直 教授

実務者：山元英崇准教授、孝橋賢一准教授、山田裕一講師、古賀裕助教、橋迫美貴子助教ほか

取得可能な認定医・専門医

取得可能な認定医・専門医：

日本病理学会専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医、死体解剖資格
 (ただし各々に必要な経験年数・症例数等あり。)

専門医研修システム

2コースを開設しており、最短5年間の研修です。

◆ 臨床コース

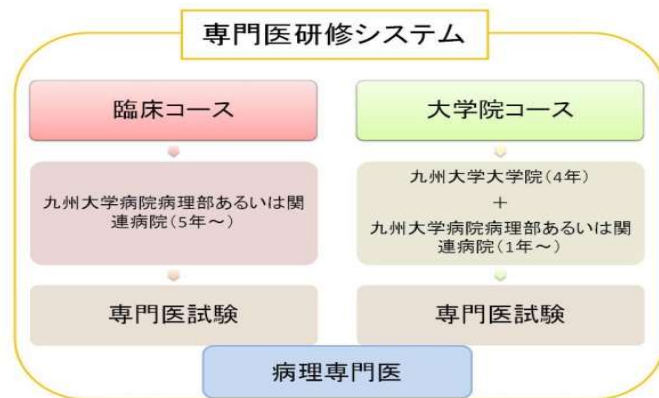
病理部の医員として、病理診断、細胞診断、病理解剖のトレーニングを行い、病理専門医、細胞診専門医取得を目指すコースです。並行して研究を行うこともできます。

◆ 大学院コース

基礎大学院の病理病態学(旧第1病理)、形態機能病理学(旧第2病理)、または神経病理の大学院生として研究を行いつつ、病理診断を学ぶこともできます。

<病理専門医への道>

- 3年間の病理診断経験
- 剖検30体以上
- 術中迅速50件以上
- 人体病理に関する論文もしくは学会発表(3本以上)
- 専門医試験



※関連病院:九州がんセンター、飯塚病院、北九州医療センター

研修医スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30	CPC		CPC		CPC
9:00	生検診断 臓器切り出し 術中迅速	生検診断 臓器切り出し 術中迅速	生検診断 臓器切り出し 術中迅速	生検診断 臓器切り出し 術中迅速	生検診断 臓器切り出し 術中迅速
14:00	研究カンファレンス (30-60分程度)				
17:00	各科カンファレンス	各科カンファレンス	各科カンファレンス	各科カンファレンス	各科カンファレンス

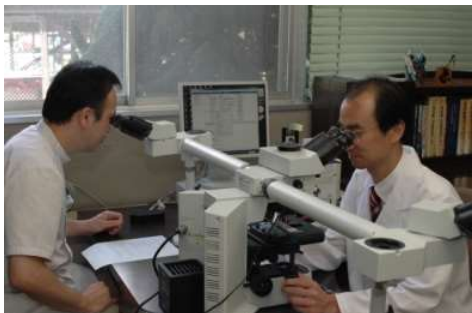
*上記に適宜、診断のチェックが行われます。

*当番制のため、曜日により業務内容が異なります。

診療科の活動 / PR

病理部では、医学研究院の病理病態学、形態機能病理学、神経病理学、歯学研究院の口腔病理学のさまざまな専門性を有する病理医、ならびに経験豊富な細胞検査士が働いています。9名の病理専門医は、それぞれ骨軟部腫瘍や小児腫瘍、肺腫瘍、心血管疾患、肝・胆・膵腫瘍、消化管腫瘍、婦人科腫瘍、頭頸部腫瘍の専門家であり、数多くの疾患について、臨床とのカンファレンスを密に行い、病院のチーム医療に貢献しています。

通常の生検、手術標本診断は教授以下スタッフとのダブルないしトリプルチェック制をとり、診断時に必ず上位医師と一緒に標本を検鏡します。剖検症例は全例CPCをしています。



教授との診断風景



CPC風景

他施設との交流としては、2ヶ月に1回の割合で九州全県の病理医が集まり、症例を検討する会「九州沖縄スライドカンファレンス」を主宰しており、九州各地で開催されています。

このように、経験豊富な病理医が多く働いていますが、一方で病理専門医を目指す若手医師も数多く所属しており、関連病院を含め現在は10名程度の若手医師が病理専門医を目指して日々研鑽を積んでいます。昨年2名の新しい病理専門医が誕生しました。

研修医のみなさんは、多くの専門家の指導を受けることができますし、同年代の先生との意見交換も自由にできます。将来臨床医としてもまた病理医としても、医師として幅広い知識を得ることができます。初期研修、後期研修のいずれも受け入れていますので、どうぞお気軽にご連絡ください。



九州沖縄スライドカンファレンス
(九大コラボセッションI)

連絡先

九州大学病院病理部（九州大学大学院医学研究院形態機能病理学）

電話：092-342-6061 FAX：092-642-5968

E-mail：contact@surgpath.med.kyushu-u.ac.jp

担当者：医局長 山田裕一（やまだ ゆういち）

診療科HP：

[病態病理学（第一病理）](http://www.med.kyushu-u.ac.jp/patho11/) <http://www.med.kyushu-u.ac.jp/patho11/>

[形態機能病理学（第二病理）](http://www.surgpath.med.kyushu-u.ac.jp/ap/index.html) <http://www.surgpath.med.kyushu-u.ac.jp/ap/index.html>

[神経病理学](http://www.med.kyushu-u.ac.jp/neuropath/) <http://www.med.kyushu-u.ac.jp/neuropath/>